

2016年 8月期

# BUSINESS REPORT

2015.9.1 - 2016.8.31



東証一部上場を契機に、

さらなる成長戦略を推し進めてまいります。

代表取締役社長 腰高 博



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2007年6月のJASDAQスタンダードへの上場以来、企業価値の向上に努めてまいりました。そして、この度、株主の皆様をはじめとしたステークホルダーのお陰様をもちまして、2016年11月7日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。

グループ社員一同、一部上場企業としての自覚を新たに、企業価値の最大化に取り組んでまいります。

## Q1 東証一部上場は、貴社にとってどのような契機となりますか？

当社は今、新たな成長ステージに入ろうとしております。特に、コア事業であるカラオケ事業では、国内・海外の両市場において、確かな成長の道筋が見えてまいりました。このようなタイミングで迎えることができた今回の東証一部上場を、今後の飛躍の契機とするべく、グループ従業員一同、ますます積極的に取り組んでまいります。

## Q2 当期の業績は、いかがでしたか？

当期の連結業績は、上場以来9期連続となる増収および経常増益を達成することができました。

カラオケ事業では、首都圏を中心とする積極的な出店に伴う先行投資の影響などからセグメント利益が前期実績を下回ったものの、業容拡大と既存店活性化が相まって売上高は二桁増を示しました。また、店舗数・会員数ともに順調に伸ばしているカーブス事業は、売上・利益ともに当期も着実に拡大しております。さらに当期は、温浴事業につきましても、年間黒字化を果たすことができました。

## Q3 「カラオケ事業」の展開状況はいかがですか？

国内展開では現在、出店施策の加速による拡大戦略と、独自の営業施策展開による既存店活性化に力を注

いります。

前者については、従来の“郊外居抜き型店舗”中心から、首都圏における“都市型駅前・繁華街店舗、建築出店”に大きく軸足を移した出店を推し進めております。順調な出店と業績の推移を受けて、出店をさらに加速させてまいります。

後者については、将来の中核顧客となる高校生にフォーカスしたカラオケルーム料金0円(無料)\*「ZEROカラ」施策が、昨年の新規導入以来大きな反響を呼び、知名度向上につながっております。また、シニア層向けの「朝うた」(昼12時まで室料30分10円)開始、ファミリー層向けのキッズルーム増設など、新施策も効果を上げてきております。

一方、海外における取り組みについても、シンガポールにおける「K BOX」の「まねきねこ」化による業績急拡大など、次の成長ステージが見えつつあります。今後、ASEAN諸国への事業展開を目指すべく、現在、インドネシア、フィリピン、ベトナムなどにおいて現地市場調査を展開中です。

\*:ワンオーダー制(有料)。混雑時は3時間の室料

#### Q4 “人づくり”への投資も、独自の展開が進んでいますね。

私たちは、「何への投資を最も重視するか?」と問われれば、「人財への投資」と回答します。コストの中でも人件費は非常に大きな割合を占めていますが、だからこそ、この投資を活かすためにも“人づくり”への投資は非常に重要であると考えています。当社のビジネスは、店舗社員とアルバイトの区別なく、常にお客様と一対一で相対して接客を行うサービス業ですので、現場の従業員一人ひとりのモチベーションや、ES(従業員満足度)の高さがとても大切です。この度、業界に先駆けて創設した継続勤務報奨制度「まねきマイル」(トピックス参照)もこの一環としての取り組みであり、これにより顧客サービスのさらなる向上につなげていきたいと考えております。

#### Q5 顧客満足度第1位\*の「カーブス事業」の躍進も続いていますね。

カーブスは、月間退会率において業界最低水準を誇るなど、非常に高い顧客満足度を実現しております。

目標店舗数として2,000店舗程度と見定めておりましたが、そこに向かって順調に拡大を続けております。当期、店舗数は120店舗増加、会員数は61千人増加し、それぞれ



1,722店舗・772千人(2016年8月末現在)となりました。

近年では、カーブスの知名度や浸透度の高さが他業界からも注目され、大手食品メーカー等のナショナルブランド商品とのコラボレーションなども増えております。たとえば本年10月からは、森永乳業株式会社のヘルシーシリーズ商品とのコラボレーションキャンペーンが実施しております(トピックス参照)。

\*:JCSI調査のフィットネスクラブ業種で顧客満足度第1位を2年連続で獲得

#### IQ6 年間黒字を果たした「温浴事業」の状況はいかがですか?

経営再生に取り組んできた温浴事業は、全店において増収と年間黒字化を果たすことができました。増収の要因は、温泉の掘削や炭酸泉の導入などのハード面の充実と、各種キャンペーンや小学生以下は入館料無料など、ソフト面のサービスの充実が相まった成果であると考えております。また、年間黒字化の要因は、増収効果に加え、水道光熱費抑制効果が大きく寄与しております。

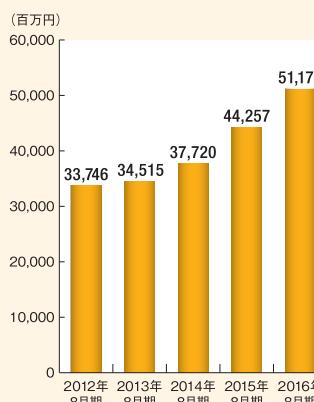
株主の皆様には、各事業において次の成長ステージを目指した今後の経営に、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト

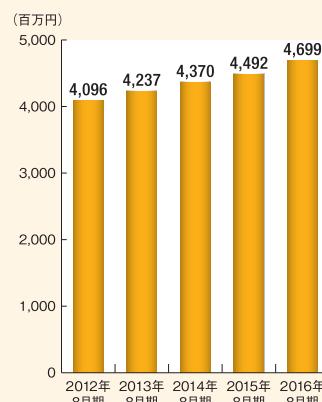
(2015年9月1日～2016年8月31日)

当期連結決算  
のポイント

### 売上高



### 経常利益



# TOPICS —コシダカホールディングスの今をお伝えします。—

## 参加型カラオケシステム「すきっと」に新コンテンツ登場! 「VRカラオケ」サービスで新たな可能性を模索。

当社独自開発の参加型カラオケシステム「すきっと」に、新たなコンテンツとして「VRカラオケ」サービスが登場しました。2016年5月2日より、「カラオケまねきねこ 新宿歌舞伎町1号店」にて同サービスの提供を開始しました。

「VRカラオケ」サービスは、全方位で収録したアーティストの映像を楽しむことができるもので、HMD(ヘッドマウスディスプレイ)を装着したお客様は、自らの意思で見たい方向の映像を360度・全方位でご覧いただくことができます。モニター画面にはこの画像が映し出されますので、見るたびに違う映像をお楽しみいただけます。

第一弾コンテンツは、ヴィジュアル系ロックバンド「lynch.」の「EVOKE」。「すきっと」とのコラボレーション企画のスペシャルライブ会場にて収録されたものです。HMDを装着したお客様は、メンバー5人に取り囲まれた映像をお楽しみいただける、臨場感たっぷりの仕上がりとなっています。

このような新たなコンテンツの拡充を図ることにより、「すきっと」のさらなる新規ファン獲得と、顧客満足度の向上を目指していきます。

## カラオケ全国チェーン初!「カラオケまねきねこ」グループ店舗が、 新施策として「全室禁煙化」の取り組みを開始。

全国480店舗(2016年9月1日現在)を展開する当社グループのカラオケ店舗では、業界に先駆けた新たな取り組みとして「全室禁煙化」を実施しました。これは、成人男女の喫煙者率が19.3%と過去最低(2016年7月28日、JT発表)となる中、安心・安全で清潔なカラオケルームへのニーズが高まっていることを受けて、実施するものです。

2016年9月1日より、まずは東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県の「カラオケまねきねこ」および「カラオケムーン」「カラオケシンシア」グループ114店舗にて、全室禁煙化を実施(店舗内に喫煙スペースを別途設置)、今後、全国へ順次拡大していく予定です。

なお、当社グループでは2013年より、非喫煙者へのボーナス加算制度を実施するなど、社内でも健康増進に向けた取り組みを行っています。

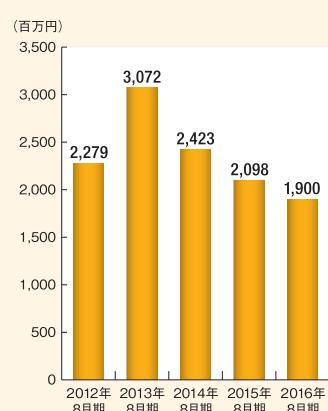


## Financial Highlights

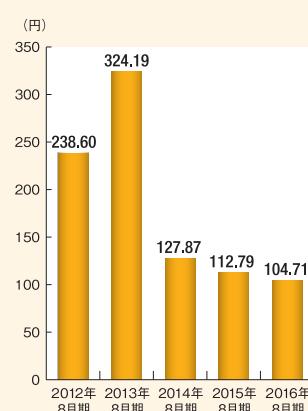
業容拡大と既存店活性化が相まって、上場以来9期連続となる増収および経常増益を達成。

売上高は511億70百万円(前年同期比15.6%増)、経常利益は46億99百万円(同4.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は19億円(同9.5%減)となりました。

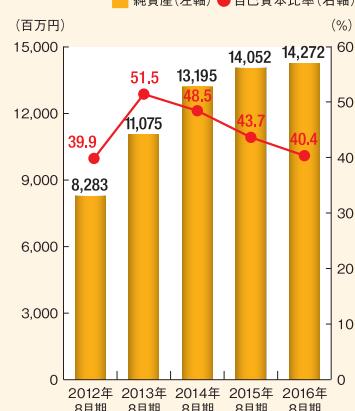
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



純資産 / 自己資本比率



(注)2014年9月1日付で1:2の株式分割を実施しております。

## 店舗社員とアルバイトを対象とした新たな報奨制度「まねきマイル」で、顧客サービスの向上へ。

当社グループのカラオケ事業と温浴事業で勤務する従業員を対象に、「まねきマイル」という報奨制度を新設しました。1時間勤務を1マイルとし、マイル獲得数に応じた特典等の付与を行うもので、アルバイトスタッフも含めたこうした制度の実施は、業界でも極めて稀なケースとなっています。

例えば、1千マイル到達で「カタログギフト」から3,000円分の支給を行いますが、今後、3千マイルで5千円分、6千マイルで1万円分など内容の拡充を行います。さらにアルバイトスタッフに対しては、社内人事制度で一定の評価を得ることを条件に、マイルに応じた現金支給(1千マイルで現金1千円支給など)も同時に行います。さらに、今後は繁忙期勤務でマイル割増支給、2万マイル到達で海外カラオケ店視察旅行や旅行券支給など、制度の魅力を高める内容の追加も検討しています。

当社グループは、より働きやすくやりがいのある環境づくりに努めることで、アルバイトスタッフを含む従業員の定着率や満足度の向上、ひいては顧客サービスの向上を図っていきます。

## 森永乳業株式会社とコラボレーション! 健康意識の高い女性に向け、新たな健康習慣を提案。

女性だけの30分フィットネスで全国で約75万人の会員様をサポートするカーブスが、総合乳業会社である森永乳業株式会社とのコラボレーションにより、新たな取り組みを始めました。

2016年10月1日より「おいしく!たのしく!はじめよう 健康習慣キャンペーン」を実施。「おいしい」と“ヘルシー”な森永乳業ヘルシーシリーズ商品のパッケージに、「カーブス1回無料体験券」を付帯、同商品購入者はこれを利用することでお近くのカーブス店舗にて無料体験を行うことができます。

ご興味のある株主様は、是非一度、キャンペーン商品をご購入の上、最寄りのカーブス店舗へ無料体験にお越しください。

【対象商品】  
「森永のおいしい低脂肪牛乳(500ml・1000ml)/無脂肪乳(500ml・1000ml)」、「クラフト とろけるスライスハーフ」  
【キャンペーン期間】  
2016年10月1日～2017年1月31日▶



## 事業セグメントの状況

Segment Information

### カラオケ事業

当連結会計年度末

**売上高276億43百万円**

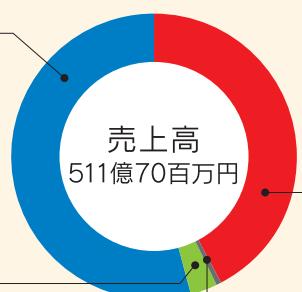
首都圏への出店の加速、韓国への直営店舗展開、シンガポールでの既存店のリニューアルや新店の開設など、国内外で積極的な取り組みを行った結果、売上高は276億43百万円(前年同期比16.2%増)、セグメント利益は11億70百万円(同2.7%減)となりました。

### 温浴事業

当連結会計年度末

**売上高15億52百万円**

カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウを活用するとともに、固定費削減に向けて抜本的改革に取り組んできた結果、売上高は15億52百万円(前年同期比3.8%増)、セグメント利益は77百万円(同1億70百万円利益増加)となり、年間黒字化を達成しました。



### 事業セグメント別売上高構成比

カラオケ事業	54.0%
カーブス事業	42.3%
温浴事業	3.0%
不動産管理事業	0.6%

### カーブス事業

当連結会計年度末

**売上高216億67百万円**

店舗での運動と相乗効果の高いプロトインの販売も順調に拡大し、会員様向け物販も伸び、売上高は216億67百万円(前年同期比16.2%増)、セグメント利益は42億35百万円(同9.8%増)となりました。

株主優待制度については  
ホームページをご覧ください。

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/ir/stockholder.html>

キーワードで紹介！コシダカの経営哲学

# 革新志向

当社グループは常に、時代の変化や消費者のニーズを捉えて一歩先・半歩先の新たな提案を行い、社会に“革新”をもたらしていきたいと考えています。

例えば「カラオケまねきねこ」グループではこの1-2年だけでも様々な“業界初”的取り組みを行っています。東京・神奈川・埼玉・千葉の全店では本年9月1日より全室禁煙化を開始しました。これらの店舗では、店舗内への喫煙スペース設置による完全分煙により、喫煙者・非喫煙者双方のお客様に快適な環境の提供を目指しています。

また、新たな客層発掘策・利用促進策として、将来の中核顧客となる高校生にフォーカスし室料無料を起爆剤とした「ZEROカラ」施策(2015年9月1日～)、シニア顧客の増加と午前利用者の増加に呼応するため、開店から12時まで一人当たり室料30分10円の「朝うた」施策(2016年7月1日～)などを開始し、大きな反響を呼んでいます。

今後も、経営を次のステージへと押し上げていくための基盤として、“革新志向”に溢れた新たな取り組みに挑戦し続けていきます。



カーブス事業



温浴事業

## VOICE 現場社員の声

### ASEANへの 拡大の拠点となるシンガポール事業… ブランド戦略を推進し、 大きな可能性に向けて前進し続けます。



KOSHIDAKA SINGAPORE  
PTE. LTD.

代表取締役社長

座間 晶

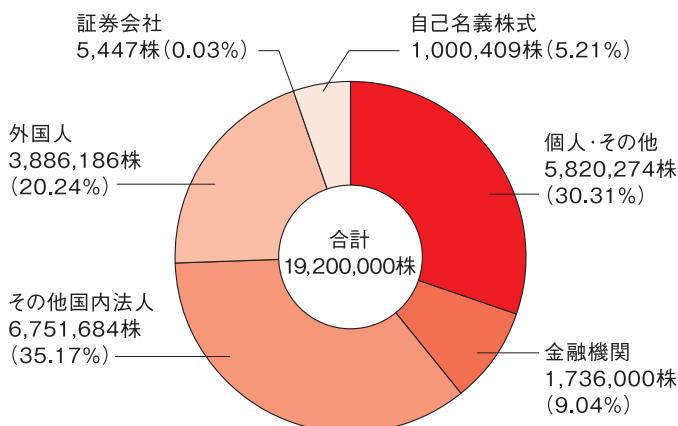
今後は、「まねきねこ」のコンセプト『安心・安全、リーズナブル、フレンドリー』を浸透させていくために、徹底的に現場に入り込み、従業員を育て、今後のASEAN進出における人財ハブ機能を立ち上げていく予定です。同時に、トレンド発信基地でもあるシンガポールにおけるブランドの確立は周辺他国へダイレクトに影響しますので、戦略的なブランド構築も行っていきます。

シンガポールで事業を行うにあたっては、文化や考え方の違いなどが多々あり、何をするにも困難と決断の連続ではあります。しかし、諦めては終わりです。8月に会社名が「K BOX」から「KOSHIDAKA SINGAPORE PTE. LTD.」に変わったことを機に、古い体質からの脱皮を重要課題と捉えて変革を推し進めていく方針です。現在はすべての業務プロセスについてスクラップ&ビルトの推進中であり、これからもアクセル全開で前へ前へと走り続けていきます。

## ■ 会社の概要 (2016年8月31日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス  
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.  
 設立年月日 1967年3月31日  
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1  
 世界貿易センタービルディング23階  
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1  
 資本金 4億9,360万円  
 事業内容 カラオケ事業  
 (店舗数:国内457店舗)  
 カーブス事業  
 (加盟店舗数:1,722店舗)  
 温浴事業  
 (店舗数:5店舗)  
 従業員数 グループ従業員 3,800名  
 (正社員 1,107名、パート・アルバイト 2,693名)  
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

## ■ 所有者別株式分布状況 (2016年8月31日現在)



## ■ 役員 (2016年8月31日現在)

代表取締役社長 腰高 博	常勤社外取締役 西 智彦
専務取締役 腰高 修	(監査等委員)
常務取締役 朝倉 一博	社外取締役 寺石 雅英
常務取締役 腰高 美和子	(監査等委員)
常務取締役 土井 義人	社外取締役 森内 茂之 (監査等委員)

## ■ 大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	5,332,000	27.77
腰高 博	2,310,000	12.03
株式会社アイエムオー	1,366,000	7.11
株式会社コシダカホールディングス	1,000,409	5.21
ビービーエイチ フィデリティ ロー プライスド ストック ファンド	637,080	3.32

## ■ 株式の状況 (2016年8月31日現在)

発行可能株式総数	76,800,000株
発行済株式の総数	19,200,000株
株主数	11,372名

## ■ 株主メモ (2016年8月31日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで  
 定時株主総会 每年11月下旬  
 基準日  
 定時株主総会・期末配当 每年8月31日  
 中間配当 每年2月末日  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 (電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました  
 株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託  
 銀行株式会社にお申出ください。  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申  
 出ください。  
 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特  
 別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。  
 確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくこ  
 とができます。  
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様  
 につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行  
 われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取  
 引の証券会社にご確認をお願いします。  
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

当社に関する詳しい情報は、ホームページでご覧ください。



<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>